

多職種チームによるポリファーマシー外来の実態と効果

当院の研究責任者 (所属)	菅原 健一 (薬剤部・薬剤師)
他の研究機関および 各施設の研究責任者	菅原 健一 (薬剤部・薬剤師)
本研究の目的	ポリファーマシーへの処方適正化のためにSTOPP/START criteriaやBeers criteria、高齢者の安全な薬物療法ガイドライン2015が提唱されているが、これらの基準をもとにした処方が臨床的に重要な効果をもたらすかは明らかになっていない。ポリファーマシーに対する多職種のシステム介入であるポリファーマシー外来の実態と効果について調べることを目的とする。
調査データ 該当期間	2015年1月1日から2019年12月31日の情報を調査対象とする
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者さま 上記期間内に栃木医療センターポリファーマシー外来を受診された患者様 ●利用する情報 電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用する
試料/情報の 他の研究機関への提供	なし
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
お問い合わせ先	電話：028-622-5241(代) 担当者：菅原 健一 (薬剤部・薬剤師)
備考	